

令和元年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(厚生労働省1(I-6-3))

* 厚生労働省では、基本目標>施策大目標>施策目標を設定して、政策を実施しています。

施策目標名(政策体系上の位置付け)	医薬品の適正使用を推進すること(施策目標 I-6-3) 基本目標 I: 安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること 施策大目標6: 品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器・再生医療等製品を国民が適正に利用できるようなこと		担当 部局名	医薬・生活衛生局	作成責任者名	総務課長 鳥井陽一
施策の概要	医薬品医療機器法では、国民の役割として、医薬品等の適正使用や、医薬品等の有効性及び安全性に関する知識と理解を深めるよう努めることが規定されている。このため、本施策は、医薬品の適正使用の普及啓発を推進するために実施している。					
施策実現のための背景・課題	1	医薬分業率が70%に達する中で、医薬品の適正使用を推進するために、かかりつけ薬剤師・薬局の推進や、医療事故の発生予防・再発防止、医療技術の高度化・専門分化の進展に対応できる病院・薬局薬剤師の知識及び技能の養成、チーム医療、地域医療に貢献する薬剤師の養成等が必要となっている。				
各課題に対応した達成目標	達成目標/課題との対応関係			達成目標の設定理由		
	目標1 (課題1)	かかりつけ薬剤師・薬局の推進		医薬品の適正使用のためには、薬剤師が行う服薬指導や薬歴管理の重要性及びこれらによる国民医療の質の向上を一人でも多くの国民が実感できることが重要であるため。		

達成目標1について

測定指標(アウトカム、アウトプット) ※数字に○を付した指標は主要な指標	基準値	基準年度	目標値	目標年度	年度ごとの目標値 年度ごとの実績値					測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
					平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
① 重複投薬・相互作用防止の取組件数(アウトプット) 【新経済・財政再生計画関係: 社会保障分野③⑥】 【新経済・財政再生計画 改革工程表のKPI】 ※平成26年度は直近3年間の6月審査分の算定件数を平均	71,502件	平成24～平成26年度	143,003件	令和2年度	-	-	-	143,003件	-	かかりつけ薬剤師・薬局による重複投薬・相互作用の防止は薬物療法の有効性及び安全性を向上させるために必要であるため設定した。 【新経済・財政再生計画 改革工程表のKPIは、施策の達成状況を表すものになっており、同KPIと同じ指標を測定指標として設定。】 (参考)平成27年度: 87,673件、平成28年度: 289,785件 (出典)社会医療診療行為別統計
2 健康サポート薬局の届出数(アウトプット)	267件	平成28年度	前年度以上	毎年度	前年度(267件)以上	前年度(879件)以上	前年度(1,355件)以上	前年度以上	前年度以上	かかりつけ薬剤師・薬局としての機能に加えて、地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援するため、医薬品等の安全かつ適正な使用に関する助言を行う薬局が「健康サポート薬局」と表示・公表できる制度を平成28年10月から開始したため設定した。 (参考)平成27年度: -、平成28年度: 267

達成手段1	補正後予算額(執行額)		令和元年度当初予算額	関連する指標番号	達成手段の概要、施策目標達成への寄与の内容等	令和元年行政事業レビュー事業番号
	平成29年度	平成30年度				
(1) 医薬品適正使用推進事業(普及啓発に係る部分)(昭和50年度)	21百万円(20百万円)	31百万円(28百万円)	29百万円	1, 2	・厚生労働省、都道府県、日本薬剤師会及び都道府県薬剤師会の主催で実施する「薬と健康の週間」(毎年10月17日～23日)において、医薬分業の趣旨を盛り込んだポスター及びリーフレットを作成・配布し、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させることにより、保健衛生の維持向上を図る事業。 ・啓発資材配布数(ポスター57000部、リーフレット97000部)。 ・かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会開催回数1回の実施。	240
(2) 薬局医療安全対策推進事業(平成20年度)	35百万円(35百万円)	35百万円(35百万円)	84百万円	1, 2	・薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、再発防止に役立て医療安全の確保を目的とする事業。 ・ヒヤリ・ハット事例の収集のため、本事業への参加薬局数の増加を促進する。 ・分析・評価した内容を関係者に周知する。	241
(3) 薬剤師生涯教育推進事業(平成22年度)	10百万円(9百万円)	10百万円(10百万円)	9百万円	1, 2	・病院や薬局等に勤務している薬剤師を対象として、病院や地域におけるチーム医療に貢献するために必要な知識及び技術を習得させるため、医療現場等において医師や看護師等と協働した高度な医療に関する実務研修等を行う事業。 ・チーム医療や地域医療の推進に貢献する薬剤師を養成する研修を行うこと等により、地域包括ケアシステムの一翼を担う薬剤師の増加を推進する。	242
(4) 患者のための薬局ビジョン推進事業【新経済・財政再生計画関係: 社会保障分野③⑥】(平成28年度～平成30年度)	193百万円(183百万円)	207百万円(191百万円)	-	1, 2	平成27年10月に策定した患者のための薬局ビジョンの実現に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局の機能調査や、かかりつけ薬局機能強化のためのテーマ別モデル事業を実施。 (事業内容) ①多職種連携による薬局の在宅医療サービスの推進事業 ②ICTを活用した地域の先進的な健康サポート推進事業 ③薬局・薬剤師による健康サポート推進事業 ④薬局薬剤師と病院薬剤師の連携(薬業連携)等の地域連携を担う人材育成事業	243
(5) 薬局機能強化・連携体制構築事業(令和元年度)	-	-	212百万円	1, 2	・薬剤師・薬局が地域において果たすべき役割や薬局間・医療機関等との連携体制を構築するためのモデル事業を実施。 (事業内容) ①薬局の連携体制整備のための検討モデル事業 ②地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業 ・先進・優良事例を収集して事例集を作成し、地方自治体と情報共有。	新31-014

施策の予算額・執行額	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度要求額	政策評価実施予定 時期(評価予定表)	令和3年度	
	予算の状況 (千円)	当初予算(a)	282,913	309,308			121,914
		補正予算(b)	0	0			
		繰越し等(c)	0	0			
		合計(d=a+b+c)	282,913	309,308			121,914
	執行額(千円、e)	263,746					
執行率(%、e/d)	93.2%						
関連税制	-						
施策に関する内閣の重要施策 (施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日	関係部分(概要・記載箇所)				
	-	-	-				